

集団かぜ発生状況(令和元年11月19日) (NO. 9)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 初発施設における本日の措置状況 (令和元年11月19日(火)措置分)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 初発施設数 | 5 施設 |
| (2) 患者数 | 61 名 |
- 施設別の発生状況 裏面のとおり

2 初発施設における現在までの措置状況(累計)

- | | | |
|-----------|------|-------|
| (1) 発生施設数 | | |
| 措置状況 | 休校 | 1 施設 |
| | 学年閉鎖 | 5 施設 |
| | 学級閉鎖 | 7 施設 |
| | 計 | 13 施設 |
| (2) 患者数 | | 205 名 |
| 在籍者数 | | 499 名 |

注:同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

注:患者数及び在籍者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

3 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患:38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 咳エチケット
 - 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
 - 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
 - 咳をしている人にマスクの着用を促す。
 - マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。
- ③ 外出後の手洗い
- ④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「季節性インフルエンザについて」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

初発施設における本日の措置状況

(令和元年11月19日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数 (人)	患者数(人)	措置 (期間)	
1	石川県立金沢 ^{フシミ} 伏見高等学校	金沢市米泉町	1年6組	40	12	学級閉鎖 (11/19~20)	1年生は全7クラス
2	金沢市立 ^{トイタ} 戸板小学校	金沢市戸板	5年1組	35	14	学級閉鎖 (11/19~20)	5年生は全4クラス
3	金沢市立 ^{トガン} 富樫小学校	金沢市山科	2年1組	22	10	学級閉鎖 (11/19)	2年生は全3クラス
4	金沢市立 ^{ニシ} 西小学校	金沢市駅西新町	2年1組	31	12	学級閉鎖 (11/19~21)	2年生は全2クラス
5	中能登町立 ^{カシマ} 鹿島小学校	中能登町芹川	4年1組	34	13	学級閉鎖 (11/19~20)	4年生は全2クラス
	計 5 施設			162	61		

既発施設における本日の措置状況

(令和元年11月19日措置分)

区分	施設名
休校 (0 施設)	
学年閉鎖 (2 施設)	・津幡町立中条小学校(1年、2年1組) ・能登町立松波中学校(1年)
学級閉鎖 (0 施設)	